高崎女子高等学校

S A H

Student Agency High School

２０２４

計画書

【一般向け】

令和６年２月２８日（水）

群馬県立高崎女子高等学校

はじめに

群馬県教育委員会は、2023 年度（令和５年度）より非認知能力育成に向けた指定校による実践研究を行うこととし、「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」を目指したＳＡＨ（Student Agency High School（ステューデント・エージェンシー・ハイスクール））の取組が始まりました。

高崎女子高校は、県のＳＡＨ指定校として令和５年度から令和７年度末までの３年間の指定を受け、「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」を目指した取組について、今年度一年をかけて高女の先生方と生徒、ＰＴＡ役員の方々、県教育委員会の担当者などと様々な議論を重ね、保護者や同窓会の皆様にも情報提供しながら準備してまいりました。

本計画書は、令和６年４月から本格実施される「高女ＳＡＨ」の目指す方向性を示すものであり、高女スクールポリシー（ＧＰ：グラデュエーション・ポリシー、ＣＰ：カリキュラム・ポリシー、ＡＰ：アドミッション・ポリシー）や具体的取組概要、教職員の共通理解及び年間活動計画等についてまとめたものです。

ＳＡＨ事業の最上位目標は「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」であり、これは 2024 年度（令和６年度）から 2028 年度（令和 10 年）までの５年間を期間とした「群馬県教育ビジョン」の最上位目標である「自分とみんなのウエルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会に向けて―ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成―」と目指す方向性は一致しています。

また、新しい高等学校学習指導要領が 2022 年（令和４年）４月から年次進行で実施されており、2024 年（令和６年）４月から３学年すべての生徒が新しい学習指導要領に基づいて学んでいます。新しい学習指導要領には、ＡＩ（人工知能）などの情報技術の急速な進化やグローバル化が進展する予測困難な社会において、予測できない変化に対し、誰かが良くしてくれるであろうと受け身で対処するのではなく、自ら行動を起こし、主体的に向き合って関わり合うことで、自分の力で人生や社会をより良くできるという実感を持ち、自ら困難を乗り越え、未来に向けて前進しようとする社会人を育てたいという想いが込められています。

新しい学習指導要領では、これからの教育の方向性として、①学校教育を学校内に閉ざすことなく、地域や社会と連携・協働することで、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組を重視すること。②各学校においては、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を図る「カリキュラム・マネジメント」の確立を図ること。さらには、③各教科等の指導において資質・能力が偏りなく育成されるよう、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うこととしています。

高崎女子高校は、校訓（向学叡智・清楚品位・明朗闊達）及び 125 年の歴史と伝統を継承し、これまで培ってきた高女の教職員の想いと叡智を活かすとともに、社会の要請を受け止めた学習指導要領及び群馬県教育ビジョン、さらにはＳＡＨの最上位目標に基づいた新しい教育にも組織的・継続的に取り組んでいきます。

この計画書で示している「高女ＳＡＨ」の取組にはメリット・デメリットがあり、これらを実行すればすべてうまくいくというような夢の方法ではありません。一人ひとりの生徒が自分の良さや可能性を認識し、豊かな人生を切り拓いていけるよう最大限支援をしていくための一方策と考えています。ここにまとめた取組内容は、あくまでも令和６年２月時点のものであり、今後の取組を重ねる中で、見直しやブラッシュアップ等が必要になってくるでしょう。これで完成ではなく、むしろこれからがスタートであり、カリキュラム・マネジメントの視点から高女のすべての先生方に加え、生徒や保護者、同窓会の皆様にも一緒に考えていただき、不断の見直しを図り、改善を目指す必要があると考えています。

高女生の皆さんは、「自ら考え、判断し、行動できる人」を目指し、固定観念にとらわれたり、誰かが良くしてくれるであろうと受け身で対処したりするのではなく、自ら行動を起こし、積極的にチャレンジしてください。高女生全員が小さな一歩を踏み出せば、一人ひとりの一歩は小さくとも大きな前進となります。誰にも個性があり、得意、不得意があると思いますが、自分の得意を伸ばし、自分を信じて、あなたしかできないことを見つけて挑戦して欲しいと思います。また、若者の特権は、若者にしか気付けない発想力にあります。その若い皆さんの発想力に、社会を変える力が宿っていると確信しています。高女生全員がダイヤモンドの原石であり、高女での高校生活の中でその原石を磨き上げ、高女の先輩方が実践しているように、グローバルな視点をもち、社会をよりよくする存在として大いに羽ばたいていって欲しいと願っています。生徒から組織される高女ＳＡＨ委員会で提案された８つの取組についても、高女生ならではのアイデアで具体化してください。この取組が将来社会に出たときに効力を発揮する社会を変える力につながっていると思うのです。

高崎女子高校は、高女生に時間を返し、自ら考えたり実行したりする機会や場を設けることで、主体的にそして飛躍的に成長しようとする高女生を応援します。

子どもたち同様、我々大人も主体的に行動し、挑戦する気持ちを常に忘れずにいることが大切です。悩んだら最上位目標「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」に立ち返って考えることで、前向きに、楽しみながら取り組んでいけたら幸いです。

生徒一人ひとりの高校生活が真に力強く輝きのあるものになるように願い、また、生徒たちが本校で培った力を礎に、生涯にわたってさらに自己の力を磨きながら新たな社会の創造に寄与していく存在となっていくことを願い、このＳＡＨの取組を進めます。

高崎女子高校の生徒、教職員、保護者、同窓会そして地域の皆様を含めたすべての関係者の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

２０２４年２月２８日
群馬県立高崎女子高校

《目次》

１．令和５年度群馬県ＳＡＨ指定校の取組について（群馬県教育委員会）・・・・・・・・　4

２．高女ＳＡＨスクールポリシー（ＧＰ、ＣＰ、ＡＰ）　・・・・・・・・・・・・・・・・　5

Ⅰ　ＧＰ（グラデュエーション・ポリシー）

Ⅱ　ＣＰ（カリキュラム・ポリシー）

Ⅲ　ＡＰ（アドミッション・ポリシー）

３．令和６年度「高女ＳＡＨ」９つの具体的取組【概要】・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

Ⅰ　大学進学に最適化した学習プログラム

○　生徒が自ら組み立て、計画し、調整する「学び」を通して大学進学に最適化した学習に取り組めるよう支援する。

１　Ａタイム（Agency Time）の実施（GP1）

２　長期休業期間等における個別最適な学習支援（GP1）

３　チーム担任制の試行(GP1,3)

○　生徒が自らの「学び」に取り組める時間を確保する。

４　定期考査、土曜講座、模試等の見直しによる「学び」の時間の確保（GP1）

Ⅱ　未来を創る・未来につながる探究活動

○　主体的な活動である探究活動を推進するとともに、総合型選抜に対応できる探究力を育成する。

５　総合的な探究の時間の充実(GP2,3)

Ⅲ　生徒が主体的に取り組む学校行事やグローバル活動

○　学校行事に企画、計画、運営から取り組む機会を設け、主体的に取り組む力、挑戦する力、粘り強さ等を身に付ける。

６　生徒から構成される「高女ＳＡＨ委員会」からの提案・実践(GP1,2,3)

７　開校記念式典の実施方法の見直し(GP3)

８　生徒主体の修学旅行実施の検討(GP1,2,3)

Ⅳ　その他

９　ＳＡＨの取組の趣旨の周知・徹底、評価・改善

４．高女ＳＡＨリーフレット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

５．令和６年度年間活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０

６．令和６年度年間行事予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３

７．高女ＧＰポスター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

１．令和５年度群馬県ＳＡＨ指定校の取組について（群馬県教育委員会）

ＳＡＨ指定校の取組について（イメージ）

目的　自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成

課題感

○生徒たちは真面目でいい子だけど･･･
- もう少し自分で考えられないかな？
- もう少し積極的に行動できないかな？
- 昔に比べて多様化しているよね？

○生徒のために色々取り組んでいるけれど･･･
- 新しい取組がどんどん増えて多忙化してるよね？
- この取組は本当に必要なのかな？
- 一律の指導は本当に効果があるのかな？



取組の視点
- 生徒の自律を育む教育活動の実施
- 一斉型授業の改善
- 手段が目的化している取組の見直し
- 目的のわからない慣例やルールの廃止

など

取り組むために必要なもの
- 学校長のリーダーシップ
- 先生方のアイデア

支援
県教委の伴走
横浜創英高校との連携（研修・職員派遣等）

【参考】
○ 新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ（審議まとめ）（令和2年11月 同ワーキンググループ）
○「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）（令和3年1月 中央教育審議会）
○ Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ（令和4年6月 総合科学技術・イノベーション会議）

目指す生徒の姿
- 自分で考えて判断できるようになる
- 行動力や折れない心が身に付く
- 対話による問題解決能力が身に付く
- 当事者として自分の責任で考えられるようになる
- 自分の力で未来を切り拓いていく



目指す学校の姿
- 指導の目的を共有し、協働できるようになる
- 目的達成に向け、一貫した、ぶれない指導ができる
- 教育活動や業務の改善・精選ができる
- 指導の目的が、言語化して共有される
- 管理職や教員の異動があっても、学校の特色や在り方に継続性が生まれる



モデル校の取組について

○ 横浜創英中高との連携、非認知教育専門家委員会からの提言、スクール・ポリシーの策定等を通して、新たな学びのスタイル（群馬モデル）を研究・構築する。
○ これまでの「日本型学校教育」により伸ばしてきた基本的な学力や規範意識を土台に、新しい学習指導要領の実施を通して、全ての高校に求められる「令和の日本型学校教育」について研究するものである。
○ モデル校の取組は、教員の働き方改革の視点を持って行う。

非認知能力の評価・育成事業　事業計画イメージ

（教）総務課　令和６年１月

目指す児童生徒の姿　自分と他者をかけがえのない存在と認識した上で、課題を自分事化し、自ら考え、判断して、責任ある行動をとる人

非認知教育専門家委員会

	R5	R6	R7	R8	R9～
	実践事例、評価手法、海外研究機関との連携等、非認知教育全般に関する協議				
1 指定校における実践研究 ①非認知能力の育成を目指し、生徒の自主性・自律性を生かした取組を実践 ○横浜創英中高との連携・研究体制の構築 ○管理職・教員の理解の醸成 ○カリキュラムや取組内容の検討 ○具体的な取組の実施・修正・改善 ○指定校研究会の開催 ○県内学校への横展開	①	準備・研修 ○管理職・教員の理解の醸成 ○実施体制や取組内容の検討	実践研究・構築 ○具体的な取組の実施・修正・改善 （指定校A／指定校B：具体的な取組 等） ○先進校視察		
		○指定校研究会 ○先進事例の研究（先進校、IB 等）	○指定校研究会 ○先進事例の研究（先進校、IB 等）	○指定校研究会 ○実践研究の情報共有	
2 SSESの分析・活用方法の検討 ②群馬県（高1）の非認知能力の実態把握 ○SSESの調査結果の分析 ③非認知能力の把握方法、把握データの活用方法の検討 ○アセスメントの在り方の検討 ○育成の手立ての検討 ○認知能力等との関連性の検証手法の検討	②		○調査結果の分析		
	③	○分析・活用方法検討に向けた準備 ○先進事例等の様々な手法の蓄積（海外事例 等）	○アセスメントの在り方の検討 ○育成の手立ての検討 ※民間研究機関等共同研究 ※海外研究機関等（スコットランド）との連携 ※県総教セ（長期研修員 等）との連携 ○認知能力等との関連性の検証手法の検討		

情報提供等

成果まとめ

群馬モデルの完成

展開・発信

○県内学校への横展開

群馬モデル
・実践研究事例
・具体的な育成の手立て例
・アセスメント手法

学校の実態に応じた取組の実施



各校の創意工夫



群馬モデルによる「始動人」を輩出する教育

２．高女ＳＡＨスクールポリシー（ＧＰ、ＣＰ、ＡＰ）

ＧＰ（グラデュエーション・ポリシー）「このような力が身に付けられる学校です。」

1. 【自立】「教わる」から「学ぶ」へ。
   自ら学び、行動する力が身に付けられます。
   ＜自立心・メタ認知力＞
2. 【創造】「高女から社会を変える！」
   誰かのためになることを新たに創造する力が身に付けられます。
   ＜探究力・挑戦力＞
3. 【対話】「地域から世界ぜんぶが私のフィールドになる！」
   多様な人々との対話を通し、グローバルに活躍できる力が身に付けられます。
   ＜人間性・粘り強さ・グローバル力＞

ＣＰ（カリキュラム・ポリシー）「このような学びの場を提供する学校です。」

○　高いレベルの進路目標を実現するため、学習活動や探究活動、学校行事、部活動などにバランス良く取り組みます。

1. 自らの学びや生き方を自己調整できる力を育てる場面を整備するとともに、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業を行います。

2. 豊かな社会を自らデザインし、課題を発見・解決する力を育てるため、探究的な活動を推進します。

3. グローバル社会で通用するコミュニケーション能力を育てるため、生徒が多様な人と交流・対話する機会を設けます。

ＡＰ（アドミッション・ポリシー）「このような皆さんを待っている学校です。」

1. 自ら進んで学びを深め、高い進路目標を実現したい人。

2. よりよい社会を創造する意欲を持ち、探究的な活動に取り組みたい人。

3. 自他の個性を認め、協働して物事に取り組むことで、自分の可能性を広げたい人。

３．令和６年度「高女ＳＡＨ」９つの具体的取組【概要】

Ⅰ　大学進学に最適化した学習プログラム

○　生徒が自ら組み立て、計画し、調整する「学び」を通して大学進学に最適化した学習に取り組めるよう支援する。

１　Ａタイム（Agency Time）の実施　（GP1）※対応するグラデュエーションポリシー（以下、同じ）

目的：生徒に時間を返し、時間を有効に使う意識、学習を組み立てる意識を高める。

概要：生徒が完全に自由に使える時間Ａタイムを、各学年とも年間で１５時間程度実施する。生徒はこの時間に「自己の学習を振り返り、今後の学習を調整する」ことや探究活動等に自由に使用できる。

２　長期休業期間等の個別最適な学習支援　（GP1）

目的：長期休業期間等を利用して生徒が自分に必要な学習を主体的に考え、計画的に取り組む機会を設ける。

概要：長期休業期間中における１，２年生の全員必修の講座や長期休業期間後の学力テストを見直す。生徒のニーズに合わせた講座や学習会を実施し、生徒一人ひとりが自ら計画した学びに取り組む個別最適な学習を目指す。

３　チーム担任制の試行　（GP1,3）

目的：生徒と職員との関係を広げ、様々な教員との関わりの中で幅広い考えを持てるようにする。

概要：クラス担任を固定せず、２クラスに３人程度の担任をチームで行う。新１年生から順次試行し、情報共有を確実に行い、生徒指導、ＬＨＲ指導等を複数の教員で実施していく。

○　生徒が自らの「学び」に取り組める時間を確保する。

４　定期考査、土曜講座、模試等の見直しによる「学び」の時間の確保（GP1）

目的：生徒が主体的に計画を立て、調整し、自らの学びに取り組む時間を確保する。

概要：定期考査の実施科目の弾力化や実施日数の調整を行う。土曜講座を廃止したり、模試の実施スケジュールを最適化したりする。スケジュールが過密になりがちな部分について改善することで、生徒が自ら計画し、学び、フィールドワークや諸活動への取組や振り返りを行うことができるようにする。

Ⅱ　未来を創る・未来につながる探究活動

○　主体的な活動である探究活動を推進するとともに、総合型選抜に対応できる探究力を育成する。

５　総合的な探究の時間の充実　（GP2,3）

目的：生徒が興味関心と社会課題を結びつけて、よりよい社会を実現させるための探究活動を行い、その活動を大学以降の学びや活動につなげられるようにする。

概要：探究活動を進める上での基本的な知識や視点の習得とともに、第一人者によるワークショップ等を通じて探究活動の土台を作る。積極的に社会との接点を持つことで、よりよい社会を実

現させるための方策を考え、実現を目指していく。高校時代の探究活動と大学進学後の学びを接続できるように、志望理由書・学びの設計書作成の支援を行う。また、１、２年生の希望者を対象に探究活動を行う科目「発展探究」を新たに設定し、学年の枠を超えた支援を行う。

Ⅲ　生徒が主体的に取り組む学校行事やグローバル活動

○　生徒が学校行事に企画、計画、運営から取り組む機会を設け、主体的に取り組む力、挑戦する力、粘り強さ等を身に付ける。

6　生徒から構成される「高女ＳＡＨ委員会」からの提案・実践(GP1,2,3)

目的：生徒が学校を見直し、立案から実施まで自分たちで組み立てる機会を設ける。

概要：生徒の総意で提案されたものは、生徒自身の力で実現、運営することができるよう職員は支援を行う。

令和６年度について評議会から校長に以下の８点が提案されている。

(1) 来年（令和６年度）から文化祭を毎年開催する。

(2) 他校との交流を行う。

(3) 校則の要、不要を見直していく。

(4) 校舎の危険な所を改善していく。

(5) 服装についての決まりを見直す。

(6) 自習室の利用時間を拡大する。

(7) どの団体でも平等に体育館を利用できるようにする。

(8) 教科書や参考書でデジタル化できるものはする。

7　開校記念式典の実施方法の見直し　(GP3)

目的：開校記念式典に生徒が主体的に関わるようにする。

概要：外部から講師を招く際の選出、折衝、進行に生徒が関わり、ＵＳＡ研修の報告、探究学習の発表、委員会での研究発表を取り入れるなど、生徒主体の部分を増やしていく。（令和６年度は生徒が講師に依頼し、調整中）

8　生徒主体の修学旅行の実施の検討　(GP1,2,3)

目的：修学旅行を探究学習と関連付けたり、生徒の選択の幅を増やしたりすることで、生徒が主体的に修学旅行に関わることができるようにする。

概要：令和７年度修学旅行は、企業へのインタビューや留学生や大学生との交流等を含めた班別コース主体の修学旅行の実施について検討していく。

Ⅳ　その他

9　ＳＡＨ趣旨の周知・徹底、評価・改善

目的：ＳＡＨの目的、実施方法等を広く周知することにより協力をお願いするとともに、不断の見直しを図る。

概要：ＳＡＨに関するポスターやパンフレットを作成し、学校の Web ページで概要や取組の様子を順次公表する。毎年、カリキュラム・マネジメントの視点から評価・改善を図る。

SAHの高女ならこんな力を身につけられます！

SAH 高崎女子高等学校

Student Agency High School

自ら学び、行動する力【自立】

「教わる」から「学ぶ」へ

<自立心・メタ認知力>

誰かのためになることを新たに創造する力【創造】

ここから社会を変える

<探究力・挑戦力>

多様な人々との対話を通し、グローバルに活躍できる力【対話】

地域から世界、ぜんぶが私のフィールド！

<人間性・粘り強さ・グローバル力>

高女SAH・３つのKEY

０１．大学進学に最適化した学習プログラム

・対話を重視した双方向の授業＆自立学習のサポートで、「教わる」から「学ぶ」へ
・時間割の中に「学習を自分でデザインする」ための時間**“Aタイム”**があります
・授業以外にも学習会や校内外のセミナー参加など、多様な学びの機会があります

Pic up! **“Aタイム”**

時間割の中にAタイム（Agency Time）が登場。気になっていた数学の問題にチャレンジ、探究活動のミーティング、検定や資格取得の準備・・・etc.
その時のあなたにとって、１番必要なことに使える時間です。
（令和６年度は年間15時間程度の実施予定）

０２．未来を創る・未来につながる探究活動

・社会の課題に気づき、どのようにアプローチしたら良いか、高女の探究ならではの“視点”を身に付けられます
・フィールドワークや調査活動を行う中で、よりよい社会を創造するための解決策を考え、実現を目指します
・希望者は週２時間の活動を行うゼミを選べ、**“より高度な探究活動”**に打ち込めます

Pic up! **“未来につながる高度な探究活動”**

昨今の大学入試では、総合型選抜（旧AO入試）など受験生を多面的・総合的に評価する入試の割合が年々増加しています。
高女の探究学習を軸とした学校内外での取組は、そのまま大学入試でのアピールポイントになります。
探究活動をより充実させるために、希望者は週２時間（通常は１時間）の活動を行うゼミも選択できます。



０３．生徒が主体的に取り組む学校行事やグローバル活動

・伝統の文化祭である**“「椎樹祭」の毎年開催”**に向けて生徒が動き出しています
・開校記念式典を生徒が企画。OBをゲストに招き生徒との交流を計画しています
・グローバル研修を始めとした様々な国際交流活動に取り組む機会があります

Pic up! **“文化祭の毎年開催”**

高女伝統の文化祭である「椎樹祭」は２年に１度の開催でした。有志生徒による「主体的な高女検討委員会」からの提案を受け、生徒の手による「椎樹祭」の毎年開催に向けて、動き出しています。



★SAH "Student Agency High School"★

Agency(エージェンシー)とは、「自分の人生および周りの世界に対して良い方向に影響を与える能力や責任を持つこと。」SAHでは生徒のエージェンシーを重視し、「自ら考え、判断し、行動できる生徒」を育成することを目的としています。

“Student Agency High School”の高女で
あなたの力を最大限伸ばしませんか？



高女ならこんな学びができます！

高いレベルの進路目標を実現するため、学習活動や探究活動、学校行事、部活動などにバランス良く取り組みます。

1. 自らの学びや生き方を自己調整できる力を育てるため、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業を行います。
2. 豊かな社会を自らデザインし、創造する力を育てるため、課題を発見し、解決する探究的な活動を推進します。
3. グローバル社会で通用するコミュニケーション能力を育てるため、生徒が多様な人と交流・対話する機会を設けます。

高女ではこんなみなさんを待っています！

1. 自ら進んで学びを深め、高い進路目標を実現したい人。
2. よりよい社会を創造する意欲を持ち、探究的な活動に取り組みたい人。
3. 自他の個性を認め、協働して物事に取り組む事で、自分の世界を広げたい人。

Q A

SAHの取組で学力は向上しますか

→SAHの取組は、県内有数の大学進学実績を誇る高女の取組を更に強化しようとするものです。効果的に学習に取り組めるよう、全員一律の課題や課外授業を見直し、生徒一人ひとりが最適な学習課題を設定できるよう支援していきます。また、定期テストや模擬試験のスケジュールの最適化や、英語検定に代表される外部試験等の受験をサポートなども合わせ、希望の進路実現につなげます。

生徒の負担が増えませんか

→生徒が自立し主体的な取組を進めたり、社会との接点を持った高度な探究活動に取り組んだりすることで、生徒の負担が増えることも想定されます。「生徒に時間を返す」ため、Aタイムの導入の他、土曜授業の廃止や定期テストの実施科目の精選、模擬試験実施スケジュールの改善、効率的な部活動の運営等を行い、生徒が使える時間を確保していきます。

先生方はどのように生徒と関わりますか

→生徒の自立を促し主体性を育てることは、生徒の放任や生徒への丸投げとは全く違います。「○○しなさい」、「□□してはダメ」などの指示をするのではなく、「Aという方法の他にBというやり方もある」、「希望を実現するためには、どんな工夫が必要だろう」など、生徒の判断を促し、進もうとする生徒の背中をサポートするのが、先生方の役割です。

SAHは高女だけが取り組むものですか

→県全体の施策である「非認知能力の評価・育成事業」の一環として、非認知能力のうち、生徒エージェンシーに着目しSAHの取組を進めています。SAHの指定校として、他に、前橋南高校、伊勢崎高校があります。また、SAHの取組に賛同した、前橋高校、前橋女子高校、高崎高校、渋川高校、渋川女子高校、富岡高校が協力校となっています。

向学叡智・清楚品位・明朗闊達
高女の伝統にプラス

高崎女子高校
SAH

※ 本リーフレットの記載内容は、令和6年2月現在のものです。

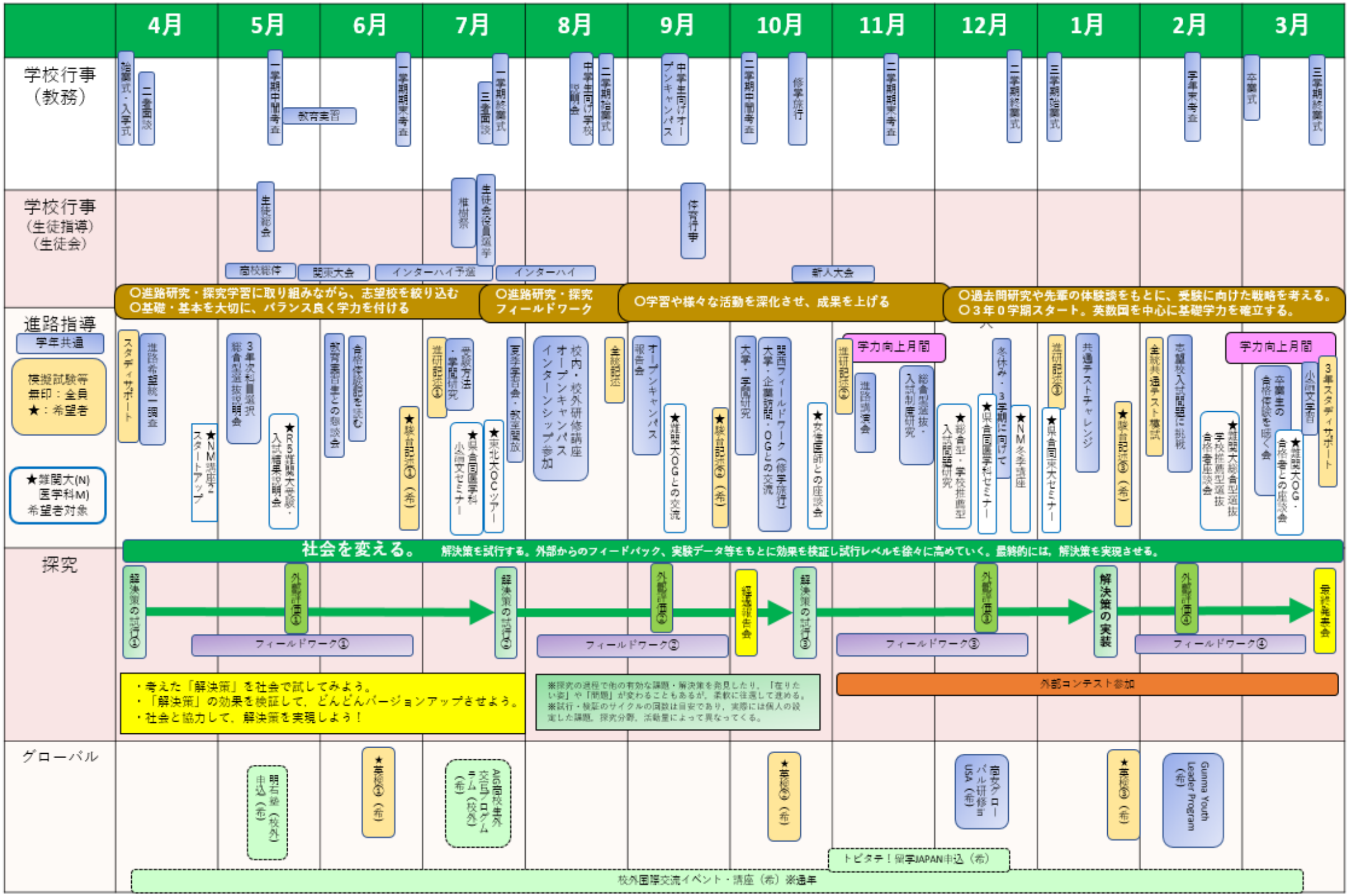
令和6年度　年間活動計画　１学年

群馬県立高崎女子高等学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事（教務）	始業式・入学式 二者面談	一学期中間考査 教育実習	一学期期末考査	三者面談 一学期終業式	中学生向け学校説明会 二学期始業式	中学生向けオープンキャンパス	二学期中間考査	二学期期末考査	二学期終業式	三学期始業式	学年末考査	卒業式 三学期終業式
学校行事（生徒指導）（生徒会）	生徒総会	高校総体 関東大会	インターハイ予選	推薦祭 生徒会役員選挙	インターハイ	体育祭 交通安全教室	新人大会	生徒モラル講習会				
進路指導	○基本的な生活習慣・学習習慣を確立する。 ○自分の興味・適性をふまえ、進路情報収集を始める。				○将来を見据えて様々な体験をする。	○英数国を中心に各教科バランスよく学習し、確かな学力を付ける。 ○他者との関わりや学問研究を深めながら、進路希望を定めていく。				○志望校を定め、文理選択を最終決定する。 ○2年０学期ｽﾀｰﾄ。1年を振り返り進級準備をする。		
学年共通	オリエンテーション・進路ガイダンス スタディサポート 進路希望調査①					オープンキャンパス報告会						
模擬試験等 無印：全員 ★：希望者		模試活用講演会 文理選択説明会 ★NM講座スタートアップ ★全統記述①（希）	合格体験記を読む 教育実習事前との懇談会 夏休みに向けてオープンキャンパスガイド	進研記述①	夏季実習会・教室開放 ★東北大OGツアー	★難関大OGとの交流 ★駿台記述①（希）						
★難関大(N) 医学科(M) 希望者対象				模試・学習研究1	校内・校外各種講座 オープンキャンパス インターンシップ参加 ★県合同東大セミナー 全統記述②		模試・学習研究2 進路講演会 進路希望調査②	学力向上月間 進研記述② ★女性医師との座談会 文理・科目選択事前調査 ★難関大入試問題研究 群大医推薦問題研究	冬休みに向けて	進研記述③ 進路希望調査③ 文理選択最終決定 ★駿台記述②（希）	学力向上月間 小論文実習 卒業生の合格体験を聞く会 ★難関大総合型選抜 学校推薦型選抜 合格者座談会 ★難関大OG・合格者座談会 2年スタディサポート	
探究	基礎的な知識・視点をインプットする。						社会を知る。 社会の在るべき姿と現状から問題を発見し原因を探る。問題を解消するための解決策を創造する。					
	先輩の体験談 探究基礎講座 専門家講座①	◎探究基礎講座 ・探究活動を支える基礎知識・視点の習得 ・外部の専門家によるワークショップと体験				専門家講座②	問題の発見 原因の探究 フィールドワーク①	経過報告会	課題の設定 専門家講座③ 解決策の創造 フィールドワーク②			経過報告会
	探究活動を進めるために ・社会問題を見いだす視点を習得しよう。 ・社会問題の基礎知識を習得しよう。 ・興味・関心のある学問分野を探そう。						◎フィールドワーク　企業、法人、官公庁、大学等の現場・研究機関への訪問 ・「どんな社会(自分自身)にしたいのか＝あるべき姿」を考えよう。 ・社会に出て，「あるべき姿と現状の差＝(社会)問題」を見つけよう。 ・問題を解消するための「課題」を設定しよう。 ・社会に出て，課題の「解決策」を考えよう。					
グローバル		明石塾（校外）申込（希）	★英検①（希）	AIG国際事業交流プログラム（校外）（希）		国際理解授業①	★英検②（希）	高校グローバル研修ｉｎUSA（希）	グローバル・リーダー養成講座 国際理解授業②	★英検③（希）	Gunma Youth Leader Program（希）	
	校外国等交流イベント・講座（希）※通年							トビタテ！留学JAPAN申込（希）				

令和6年度　年間活動計画　２学年

群馬県立高崎女子高等学校



令和6年度　年間活動計画　３学年

群馬県立高崎女子高等学校

学校行事（教務）

- 4月：始業式・入学式／二者面談
- 5月：一学期中間考査／教育実習
- 6月：一学期期末考査
- 7月：三者面談／一学期終業式
- 8月：中学生向け学校説明会／二学期始業式
- 9月：中学生向けオープンキャンパス
- 10月：二学期中間考査
- 11月：二学期期末考査
- 12月：三者面談／二学期終業式
- 1月：三学期始業式
- 2月：家庭学習開始
- 3月：卒業式

学校行事（生徒指導）（生徒会）

- 5月：生徒総会／高校総体／関東大会
- 7月：准樹祭／生徒会役員選挙／インターハイ予選
- 8月：インターハイ
- 9月：体育行事
- 10月：薬物乱用防止教室／新人大会

進路指導

- 4月：○活動実績・志望理由をまとめ、受験の方向性を定める
- 5月：○受験教科の基礎固め／○年内入試出願準備
- 9月：○模試のラッシュ：実戦力確認→弱点補強＆応用力養成／○総合型選抜・学校推薦型選抜　出願・受験
- 12月：○共通テスト直前対策→本番／○受験校決定・出願
- 2月：○私大・国公立一般選抜対策・受験／○受験体験の振り返り・進学準備

学年共通

模擬試験等
無印：全員
★：希望者
ドッキング
判定模試ー

★難関大(N)
医学科(M)
希望者対象

- スタディサポート
- 進路希望統一調査
- ★NM講座3スタートアップ
- 早期課外スタート
- ★難関大受験・入試結果説明会
- 総合型選抜説明会
- 教育実習生との懇談会
- 合格体験記を読む
- 進路講演会
- ベネ駿共テ①
- ベネ駿記述①
- ★駿台記述①（希）
- ★県合同東大セミナー／医学科小論文セミナー
- 三者面談
- 夏季講座①（希）
- 各自の志望校・受験方法に応じOC、校内外の講座、模試等に参加する
- 夏季講座②（希）
- ★大学別オープン模試　校外（希）
- ★個別添削
- 共通テスト出願説明会（希）
- 学校推薦説明会（希）
- ベネ駿共テ②
- ★駿台記述②（希）
- 全統共テ②
- ベネ駿記述②
- ★大学別模試　校外（希）
- 全統記述②
- ベネ駿共テ③
- ★大学別模試　校外（希）
- 全統共テ③
- 総合型・学校推薦型選抜　面談・小論文対策（希）
- 受験校・併願スケジュール検討のための三者面談
- 出願校調査
- 冬季講座
- 共通テストパック模試（Kパック）
- **大学入学共通テスト**
- 特編授業
- 出願校検討面談／共通テスト自己採点
- ★東大京大直前テスト
- ＜家庭学習＞
- 私大・国公立一般選抜　面接・小論文対策　＆過去問添削（希）
- 受験結果報告
- 合格体験記執筆
- 合格体験発表会・後輩・OGとの座談会

探究

進路に繋げる。　探究活動と大学進学後の学びを接続させた志望理由を明確にし，総合型選抜等の可能性を拡げるとともに，一般入試における教科学習のモチベーションも向上させる。　最終的に，進学後の学びの質を大きく高める。

- 探究論文
- 学びの設計書
  - ≪学びの設計書のイメージ≫
  - ①こんな社会にしたい、こんな自分になりたい。
  - ②在るべき姿と現状には○○な【問題】があり、原因は○○である。
  - ③実現するための【課題】は○○である。
  - ④【課題】を解決するために高校時代は○○な活動を行った。
  - ⑤そして【課題】をより良く解決するためには、○○大学のリソースが○○な理由で最適である。
  - ⑥○○大学入学後は、○○な学びをしていきたい。
- 総合型選抜
- 学校推薦型選抜
- ○探究活動のレベル　※テーマによってはレベル2が限界の場合もある。
  - レベル１　色々と調べて志望校の学問・研究に興味を持った。
    ※○○大学○○学部ではなく○○大学○○学部である理由を賄せる。
  - レベル２　調べるだけでなく「行動」に移した。
    行動例：取材する。計画書、試作品等の作成を行った。
    ※大学入学後、卒業後のビジョンが明確である。
  - レベル３　計画書などをもとに、実際に社会との接点を持った活動を行った。
    ※ビジョンが明確且つビジョンを実現できる実績を積み始めている。
  - レベル４　探究活動を通じて、社会を善いものに変えた。
    ※レベル3で得たフィードバックを元に社会実装に結びつけた。
- 卒業後の学びへ

- ・活動をまとめて，将来に繋げよう。
- ・あるべき姿に向けて，出来たこと，出来なかったことは何だろうか？
- ・出来なかったことを実現するためには，卒業後にどんな学びをすれば良いのだろうか？

グローバル

- ★高校①（希）
- ★高校②（希）
- ★高校③（希）

校外国際交流イベント・講座（希）※通年

令和６年度年間行事予定表

(代)は日直代行員がいる日で，学習室も利用できます。×は学校閉鎖日（校舎内立入禁止）で，模試・部活動以外は原則施錠し，校舎内に立ち入れない日です。

高崎女子高等学校　2024/2/27

日		4月	5月	6月	7月	8月	9月	日	10月	11月	12月	1月	2月	3月	日
9	火	入学式(午後)	木	日	火	指物条代休	金	月	9	水	中間考査②	土	月	木	日	日	9
10	水	2年スタディサポート	金	月 高校総体	水	保護者授業公開	土	火	10	木	中間考査③	日	火	金 午後	1年性教育講演会	月 学年末考査①(1，2年)	月 成績入力締切 いじめ悩みアンケート	10
11	木		土	火	木	午後	木	午後	11	金 午後	3年LHRこころの教育事業 3年ペネ服記述	月	水 成績会議 職員会議	土	火 午後	火	11
12	金	1年スタディサポート	日	水 A5	金 成績会議 三者面談	月	木	12	土	3年ペネ服記述	火 午後	木 午後	日	水 学年末考査②(1，2年)	水	12
13	土		月 (校上)	木	土 本白根駐車情報？	火	金	13	日	木 A5	金	月	木 学年末考査③(1，2年)	木 午後	13
14	日		火	金 午前 マナーアップ運動	日	水	土 高女オープンキャンパス	14	月	木	土	火	金 学年末考査④(1，2年)	金 合格者の話を聞く会	14
15	月 午前	1年心臓検診(午前) 面談週間	水 午前 生徒総会 A4 PTA本部役員会？	土	月	木	日	15	火	授業公開月間開始(~11/18)	金 2年進路講演会	日	木 A1	土	15
16	火	内科検診(午後)	木 歯科検診(午前) 内科検診(午後)	日	火 午前 三者面談	金	月	16	水	土	月	木	日	日	16
17	木	1年レントゲン(午後)	金 眼科検診(午後)	月 職員研修②	水 三者面談	土	火	17	木	日	火	金 2年LHRこころの教育事業	月	月 成績会議 職員会議	17
18	木	内科検診(午後)	土	火 A5	木 三者面談	日	木	18	金	薬物乱用防止教室(3年) 月	木	土 大学入学共通テスト	火	火	18
19	金	防災避難訓練① 眼科検診(午後)	日	水	金 終業式 三者面談	月	木 午前	19	土	3年全統記述	火 期末考査①	木	日 大学入学共通テスト	水 午前	木	19
20	土		月	木 生徒会役員選挙	土	火 3年夏季補習②	金	20	日	木 午前 期末考査②	金 午前	日	月 午前 3年出テ自己採点 ★2年出テチャレンジ	木	20
21	日		火	金 午後 授業アンケート 学校評価アンケート	日	水	土 1~3年駿台記述(希)	21	月 午前	木 期末考査②	土	火	金	金 午前 入学前オリエンテーション 新2年スタサポ PTA地区委員会	21
22	月 午後		木 午後 中間考査①	土	月 夏季休暇開始	木 学校説明会(仮) 全国高P連【武蔵】	日	22	火	2年修学旅行	金 期末考査④ 全統共テプレ 県指導者研究集会(前橋)	日	木 A2	土	22
23	火	内科検診(午後)	木 中間考査③	日	火 3年夏季補習① 関東高P連【千葉】	金 夏季休暇終了 全国高P連【武蔵】	月	23	水	A3	土 全統共テプレ	月 終業式	木 PTA本部役員会	日	23
24	木	尿検査	金 中間考査③ PTA総会オンライン説明 3年ペネ共テ	月	木 12年夏季学習会 関東高P連【千葉】	土 12年全統記述	火 A1	24	木	日	火 冬季休暇開始	金 3年出願校検討会	月	月 終業式・離退任式	24
25	木	尿検査 内科検診(午後)	土 3年ペネ共テ 全統高1(希)	火 期末考査①	木	日	水 (振替行事)	25	金	1学年PTA/進路懇談会	月 いじめ悩みアンケート	水	土 1，2年駿台記述	火	火 学年末休暇開始	25
26	金		日	水 期末考査②	金	月	終業式 木 午後 (振替行事)	26	土	火	木 冬季補習 (1~3年希望者)	日	水 午後	木	26
27	土		月 授業公開月間開始(~9/24) 職員研修①	木 期末考査③	土	火 午後	金 交通安全教室(1年) ★3年全統共テ	27	日	木 午後	金	月 午後 卒業記念集会 職員会議	木 職員会議	木	27
28	日		火	金 期末考査④ 3年ペネ記述	日	水	土 ★3年全統共テ	28	月 午後	木 3年進路検討会	土	火	金 卒業式準備 PTA記念品贈呈式 同窓会入会式	金	28
29	月		水 いじめ悩みアンケート ※6限LHR 3.8の振実と振替	土 1~3年ペネ記述	月	木	日	29	火 A4	金 情報モラル講習会(1年) 3年進路検討会	日 ×学校閉鎖	水 A3	土	29
30	火 午前	内科検診(午後)	木 午前 歯科検診(午前)	日	火	金	月 職員研修③	30	水	土	月 ×学校閉鎖	木	日	日 ×	30
31			金 尿検査 探究外部講師来 PTA総会常置委員会	土	水	土	31	木		火 ×学校閉鎖	金 1年LHRこころの教育事業 ★2年全統共テ	月 ×	31
備考		池袋ＩＢ校引率Ｂ(24Ｂ)	池袋ＩＢ校引率Ｂ(16Ｂ)	幕張ＩＢ校引率Ｂ(17Ｂ)	東北大ＤＣツアー	大学ＩＲ模試(校外・希)	ＰＴＡ立食懇親会行事？	備考	ＰＴＡ講演懇親会行事？	大学ＩＲ模試(校外・希)					

高崎女子高等学校

GP グラデュエーションポリシー

自立 『教わる』から『学ぶ』へ。

☞ 自ら学び、行動する力が身に付けられます。
＜自立心・メタ認知力＞

創造 高女から社会を変える！

☞ 誰かのためになることを新たに創造する力が身に付けられます。＜探究力・挑戦力＞

対話 地域から世界すべてが私のフィールドになる！

☞ 多様な人々との対話を通し、グローバルに活躍できる力が身に付けられます。
＜人間性・粘り強さ・グローバル力＞

群馬県SAH最上位目標　SAH…Student Agency High School

「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」

群馬県立高崎女子高等学校2024